

# こほく地 あらき区社協だより

第76号(令和5年1月発行)  
湖北地区社会福祉協議会  
TEL/FAX 04-7187-2551(月~金)

事務所: 我孫子市中里 335-1 (スーパーマスタ湖北店 3階)  
E-mail: kohoku2551@abiko-shakyo.com (メールアドレス)  
http://kohoku.abiko-shakyo.com/ (ホームページ)

社会福祉協議会は「地域福祉の推進」の中心的な担い手として、社会福祉法に定められた組織で、皆様のご支援ご協力を得ながら事業を実施しております。

皆様へ: 今後の新型コロナウイルス感染状況により、事業の中止や変更もありますのでご了承ください

## 令和5年(2023年)年頭のご挨拶

湖北地区社会福祉協議会  
会長 城 健夫

新年あけましておめでとうございます。

日頃は湖北地区社協の「地域福祉の推進」運営に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。こほく・あらき地区の皆様には、新年を迎えて「一年の計は元旦にあり」と決意を新たに、すでに活動を開始している方もおられると思います。私ども社協も計画通り福祉活動を進めています。

昨年はコロナの感染状況を確認しながら、いきいき塾の教室や健康体操、ふれあいサロン、各学校の認知症サポーター養成講座などを実施し、ほぼ計画通り達成することができました。最大のイベント「こほく・あらき福祉まつり」は3年ぶりに各学校の吹奏楽の発表もでき、大盛況でした。年初の「新春地域お楽しみ会」は落語や郷土芸能の披露もあり、地域住民の皆様が大いに楽しんでいただきました。3月に予定されている「2023健康まつり」も体力測定を中心に3年ぶりに実施すべく、作業部会を中心に準備を進めています。

本年は「おやっこルーム」「バランスボール健康体操」などを推進するとともに、3年間未実施の「独居高齢者日帰りバス旅行」の実施を共催の民生委員の方々とともに検討してまいります。引き続き住民の皆様が充実した福祉をご提供するためには、地域のご参加、ご協力が不可欠です。

皆様の変わらぬご支援をお願いし、会長からの新年のご挨拶といたします。

## 「こほく・あらき健康まつり」開催予定

コロナ禍により9月3日に開催できず延期となっておりました「こほく・あらき健康まつり」を令和5年3月7日(火)開催に向けて計画中です。開催内容は当初計画を踏襲する形で検討しています。

転倒事故を防ごう～転ばぬ先の杖～をテーマにした体力測定、脳内元気測定など、健康に役立つ楽しい企画と参加記念の湖北地区社会福祉協議会の「オリジナルクリアファイル」も用意して準備を進めています。詳細が決まりましたらお知らせしますので、ぜひご参加ください。



湖北地区社協では地域の皆様に参加できるいろいろな事業を行っています。健康づくり、友達づくり、仲間と一緒に楽しく過ごしましょう。☎04-7187-2551 湖北地区社協事務所までどうぞ

## 1月9日(祝)「新春地域お楽しみ会」が開催されました

コロナにより延期となっていた地域お楽しみ会がコホミンで開催されました。伝統の芸を楽しむ鑑賞型の「第1部」と地域の皆さんの芸を発表する参加型の「第2部」という構成で行われ、地域の皆さんに楽しんでもらいました。「第1部」ではさすがプロと感じさせる、桂枝太郎師匠の落語と鏡味千代さんの太神楽を堪能し、あびこふるさと会による郷土芸能で新春気分を味わいました。続く「第2部」では合唱、三線演奏、新舞踊、バンド演奏などバラエティに富んだ熱演の連続で、笑いあり、ときめきありの盛り上がりでした。



## 10月30日「こほく・あらき福祉まつり」が開催されました

昨年の「こほく・あらき福祉まつり」は例年より1か月早く、10月30日に開催されました。お天気にも恵まれ、3年ぶりに学校の吹奏楽演奏もあり、会場のコホミンには800人以上の地域の皆さんにご来場いただきました。

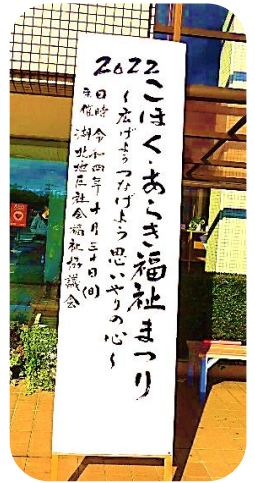
ホールでは午前10時から湖北地区社協 城会長、来賓の市社協 鈴木会長の挨拶に続き、こほく・あらき福祉まつりポスターコンクールの入賞作品の表彰式が行われ、出席された10名の児童生徒に賞状と記念品が授与されました。今回もポスター全応募90作品を2階の第1学習室に展示、参観者は約250名にのぼりました。

続いて、ゲストの中央学院高校女子10名と小学生キッズ33名のチアリーディングが披露され、会場は拍手喝采になりました。引き続き、湖北小吹奏楽部、午後の新木



小吹奏楽部の演奏が披露され、その見事な出来栄えに観客から大きな拍手がありました。児童はそのままホール席に着席、湖北中吹奏楽部の演奏が終了すると湖北中の部員と合流、エンディングの「花は咲く」を合唱し、華やかなフィナーレとなりました。

2階では福祉事業所の手づくり商品の販売もあり、人気のパンなどは午前中に売り切れてしまいました。また各学校の日ごろの学習の成果が展示され、家族連れの方が熱心に見学していました。高齢者なんでも相談室は、子ども「白内障疑似体験」や紙芝居など用意して、保護者も一緒に体験できるように工夫していました。3年ぶりに再開の子どもボランティアのいきいきした活躍ぶりは、各校の校長先生から高い評価をいただきました。来年もまた学校や地域の住民が一体となった福祉まつりができるといいですね。



## 今年度から始まったおしゃべりサロン

毎月第4水曜日の午後から社協事務所前でほくほく健康教室の後におしゃべりサロンを開いています。長いコロナ禍に於いて自宅に閉じこもりがちの高齢者の方に、少しでも外へ出て地域の方々との交流を楽しんで頂きたいとの思いからです。今は10名前後の方々に参加して下さっています。冬は自宅から出るのもためらいがちですが、どうぞお気軽に参加して下さい。予約は不要です。皆様のおいでを心からお待ちしております。



【湖北地区社協 今井】



## おやっこルーム再開しました

コロナ禍により3年近くお休みをしていましたが、昨年11月10日に再開し、2回目の12月8日にはお父様の参加もあり5組14名で、和やかな雰囲気で行うことができました。

おもちゃ遊びや手遊び、紙皿で雪だるまを作りました。まだ色々な催しをすることはできませんが、感染症対策を行いながら、お家とは違った場所で、のんびりおしゃべりしながら楽しみませんか。毎月第2木曜日10時より新木近隣センター和室です。予約はいりませんので、ぜひ親子で遊びに来てください。【湖北地区社協 北古賀】



## 湖北・新木ふれあいサロン「元気でいきいき」

ふれあいサロンは地域の高齢者のみなさまの交流の場です。

寝たきりや認知症予防に良いといわれる「人と話をする」「手や足を動かす」「脳に適度な刺激を与える」など、いつまでも元気でいきいきとした生活を送ることを目標としています。皆さんと共におしゃべりをしたり鳥谷部さんのピアノ演奏で歌を歌ったり楽しい時間を過ごしております。毎回いろいろな催しをしていますのでお気軽にお近くのサロンにお出かけください。



新木クリスマス交流会



湖北クリスマス交流会

【湖北地区社協 田北】

◇お問い合わせは 湖北ふれあいサロン長谷川 ☎04-7188-7080  
新木ふれあいサロン和田 ☎04-7105-5132

## 認知症サポーター養成講座 ◇5学校延べ450名参加しました◇

前号で、認知症サポーター養成講座を開催していることについてお伝えしましたが、今回は講座を受講した学校の生徒の皆さんの感想を掲載します。「将来、福祉に関する仕事に就きたいと思っていたので、認知症について知ることができ、福祉に関する幅が増えてとても良いことを学びました。」「認知症は高齢者だけでなく、若い人にも発症したりするのが驚きでした。」「困っている方がいたら、勇気をもって手を差し伸べてあげたいです。」「自分の家でも祖母が認知症になっていて、子どものようになっているけど、それを嫌だと思わずに対応してあげようと思いました。」「認知症状も環境や対応によっては改善する症状があることを学びました。」今後も認知症の方が安心して暮らせる街を目指して、学校での認知症サポーター養成講座を継続して行っていく予定です。



## バランスボール体操 新年度も開催予定

ベジガールズ指導のもと、医療用の本格的なバランスボールを使用し、誰にでも簡単にできる呼吸法と運動を習います。コグニサイズも入れながら音楽に合わせて楽しく運動できます。好評でしたので今後も継続する予定です。日程などは今後ポスターなどでお知らせいたします。



ご協力ありがとうございます。「手賀沼カレンダー」好評発売中!!

## 紹介します!!高齢者なんでも相談室 ～困ったらお気軽にご相談ください～

平成18年の介護保険改正時、新設された地域包括支援センターでしたが、「よくわからない」「何をしてくれるところなの?」「名前が難しい!!」という声をよく耳にしました。そこで、我孫子市では「高齢者なんでも相談室」の愛称が付けられだんだん定着してきました。

高齢者なんでも相談室は、介護・医療・保健・福祉などの側面から高齢者を支える「総合相談窓口」です。主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師（看護師）の専門知識を持った職員が、それぞれの専門分野の仕事だけでなく、互いに連携を取りながら「チーム」として総合的に皆様を支えます。また、行政・医療機関・介護保険事業所・地域の皆様と協働して安心して暮らせる街づくりを目指しています。

### ◆自立した生活を支援します!

いつまでも自分らしく生き生きと地域で暮らすために、皆様の今の状態にあった介護予防サービス等を利用するために必要な支援を行います。

介護保険の使い方がわからない/要介護認定の申請をしたい/「要支援1」「要支援2」に認定され、介護予防サービスを利用したい/ケアマネジャーや介護保険サービス事業所、施設のことについて知りたい/地域で開催している介護予防教室に参加したい



### ◆さまざまな相談に応じています!

介護保険制度のこと、健康のこと、認知症のこと、その他暮らし全般についてのご相談に応じ、適切なサービスの紹介や関係機関との連携を行い、解決のための支援を行います。

近所の一人暮らしの高齢者が心配/最近親の物忘れが心配/家族介護者等の介護離職に関すること

### ◆皆様の権利を守ります!

成年後見制度、高齢者の虐待、消費者などのご相談をお受けします。

悪質な訪問販売の被害にあって困っている/財産管理に自信がなくなってきた/虐待にあっている様子の方がいる/一人で介護をされていて疲れてしまった

### ◆多方面から皆様を支えます!

ケアマネジャーへの支援や、地域・医療・福祉などのネットワークづくりに取り組んでいます。

当地区には担当地区別に2つの高齢者なんでも相談室がありますので、お気軽にご連絡ください

①湖北・湖北台地区 高齢者なんでも相談室（保健センター横） ☎04-1181-6777

②布佐・新木地区 高齢者なんでも相談室（平和台郵便局横） ☎04-1189-0294

## —————湖北小創立 150 周年記念コラム(第 1 回)—————

今年5月25日(木)、我孫子市立湖北小学校は創立150周年を迎えます。明治5年(1872年)学制が公布され、翌年、我孫子市では当時の我孫子村の我孫子小学校(現在の第一小)、布佐村の刀寧小学校(現在の布佐小)が小学校として認可されました。この頃、鉄道(新橋～横浜)も開通し米国から野球も伝来しています。翌年、湖北村の中峠小学校(現在の湖北小)が3校目の小学校として認可されました。我孫子市で創立150周年事業を行うことができるのはこの3校だけです。

今年1月18日に、1年早く創立150周年記念式典を終えた布佐小をお手本に、湖北小でも学校運営協議会を中心に、学校、PTAの幹部、地区社協など13名が集まり、昨年11月18日に第1回「創立150周年事業実行委員会」を立ち上げました。式典は令和6年1月の開催を予定し、記念誌の発行、記念式典、記念事業の内容と今後の進め方などを協議しました。進行状況はこの連載コラムで逐一報告していきますので、地域におられる湖北小卒業生の方々の母校に対する思い出などもお寄せください。地域の皆様の暖かいご支援をよろしくお願いいたします。(実行委員長 城 健夫)